

# 「GISで小学生を笑顔に」プロジェクト

坂井市役所 学校教育課

子どもの“？”と期待に応えたい！

Kids smile project by GIS

北岡 武

## キーワード

GIS (ICT) 教育・地理院地図・古地図・空中写真・地域創生・人口減少対策



GIS の学習ではなく、通常の教科単元の中で、GIS をどのように活用するか、先生方と話し合いながら、児童が使用(操作)するサイトの構築やワークシートの作成に取り組みました。

## GISでちくたんけん

2年生生活の「ちくたんけん」で子どもたちが、地域を歩いて訪れた場所を、地図上では、学校からどんな方角・距離にあるのか、それぞれが GIS を操作してワークシートに回答を記入しました。学校の周りの場所について知識を深めるだけでなく、空間認識能力を身につけることができました。



## GISで「もしも」を考えよう

3年生社会「むかしの暮らし」では、古地図を活用し、現在との線路の違いを見て交通手段の移り変わりを確認しました。また、福井地震直後の空中写真で丸岡城の天守が崩壊している姿を確認し、地震(災害)を自分事として認識しました。この児童が4年生になり、「私たちの暮らし(社会)」で坂井市 WebMap を操作し、各ハザードマップを表示しながら、自宅から近い避難所がどこなのか、各災害時にどのような被害が想定されるのかを確認、認識して、日ごろの備えについて考えました。特に、今回は、GIS(地理院地図)の計測機能を活用して、家から避難所までの距離を計測しました。教科書では、他市のハザードマップで学習することになりますが、自分たちが住む市の GIS を活用してハザードマップの学習をすることで、さらに、防災を自分事ととらえて考えることができました。



## GISで水のゆくえ

4年生社会で、浄水場や下水処理場を見学して、水についての学習をしています。子ども達から、「浄水場から学校まで、学校から下水処理場まで、水は、どう流れているの?」という“疑問”があるとの話をいただいたので、上下水道の配管図を GIS 上に表示しながら実際の水のゆくえを学習しました。



GIS を防災だけでなく、地域の歴史など自分の身近な暮らし(地域)のことを深く考えるツールとして、単元学習のより深い学びのツールとして、活用できています。

地図や地域のことを学習するだけでなく、児童自らが GIS を操作することで、予算“0”(ゼロ)で、ICTを活用した教育や子どもたちの“？”と期待にこたえています。